



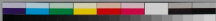
7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7



守之

守之

守之



天智天皇

神代卷親の

御事

御事

御事

御事

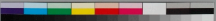
持統天皇

春日天皇

御事

御事

御事



挿本入丸

河

...

...

...

...

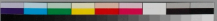
...

...

...

...

...



後九年夏

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

あつた

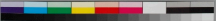
中納言

あつた

あつた

あつた

あつた

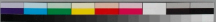


安部仲磨

あべのちゅうま
あべのちゅうま
あべのちゅうま
あべのちゅうま
あべのちゅうま

大権法師

おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし
おほごんぼうし

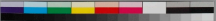


小師小師

Handwritten cursive text on the right page, consisting of several vertical columns of characters.

釋丸

Handwritten cursive text on the left page, consisting of several vertical columns of characters.

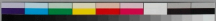


受之儀の書

受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書
受之儀の書

僧正遍照

僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照
僧正遍照



陽成院

御
御
御

七
七
七

御
御
御

御
御
御

御
御
御

河原宮

御
御
御

御
御
御

御
御
御

御
御
御

御
御
御



光孝天皇

きんぎょをばし

いづれか

くまのこ

くまのこ

中納言行春

たのしみ

かみ

おのの

い

い



在東洋海峽

七

八

九

十

十一

十二

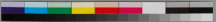
十三

十四

十五

十六

十七



伊勢

なす、いんげん、わかめ、あじ

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

えん、いんげん

ごぼう、きんぴら

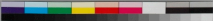
のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

のり、かぶ、ごぼう、きんぴら

えん、いんげん



素性法師

のり

二

後一頁中

二

つら

二

文二層原考

廻

親

く

二

お

ら



大いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

いふ

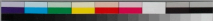
昔家

いふ

いふ

いふ

いふ



心 傑 石 大 石

たああ

親あ

あ

あ

あ

あ

貞 信 公

あ

あ

あ

あ

あ



中絶の道

中絶の道

中絶の道

中絶の道

中絶の道

中絶の道

源宗之

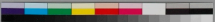
源宗之

源宗之

源宗之

源宗之

源宗之



元河内縣志

卷之四

風俗

一

二

三

平生忠孝

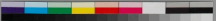
四

五

六

七

八



故と是か

ついでに

うらやま

ほふふ

佛

の

春通列樹

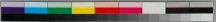
わさ

の

し

よ

ち



絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

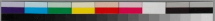
絶友則

絶友則

絶友則

絶友則

絶友則



純貫之

平六郎師直

親の恩を以て

て

お上り申

す

清原源光文

お上り申す

す

お上り申す

お上り申す

お上り申す



文庫の巻

ひらくことおぼ

指しあはしめ

と

親を

と

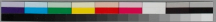
と

わ

あ

あ

あ



冬之儀等

冬の儀等

冬の儀等

冬の儀等

冬の儀等

冬之儀等

冬の儀等

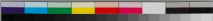
冬之儀等

冬の儀等

冬之儀等

冬の儀等

冬之儀等



于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思

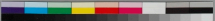
于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思

于生忠思



中納言（中納言）

右大臣（右大臣）

左大臣（左大臣）

右大臣（右大臣）

左大臣（左大臣）

中納言（中納言）

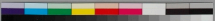
中納言（中納言）

右大臣（右大臣）

左大臣（左大臣）

右大臣（右大臣）

左大臣（左大臣）



藤徳公

おと一

おと一

おと一

おと一

おと一

曾孫

おと一

おと一

おと一

おと一

おと一



あまのついで

あまのついで

くんと

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで

あまのついで



大申 在徳道徳

みまらうのふがふが

つらき世にわたり

そふと世にわたり

うらみよふら

及 京義考

るあう

うらみよふら

うらみよふら

うらみよふら



後京実方御持

ありそめめ下

いそくふまふ

佛神あつ

うすく

後京実方御持

後京実方御持

この中へ親方

孝子

人かふたか

はるか

いそくふまふ

後京実方御持



大納言 倭母

たの

り

り

り

り

倭國の国

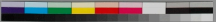
り

り

り

り

り



大納言公任

くわのふあじの

くせらうら

いんあじと

かきみ

和歌式部

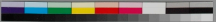
うら

かきみ

あじ

あじ

あじ



大武之儀

如

大武之儀

如

大武之儀

如

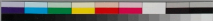
大武之儀

如

大武之儀

如

大武之儀



赤澤清

中

...

...

...

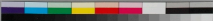
小武納内傳

...

...

...

...



伊能大輔

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

清水納言

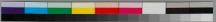
いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに

いかにいかにいかに



左京右京通雅

いふふらぬふらぬ

ふらぬふらぬ

ふらぬふらぬ

ふらぬふらぬ

ふらぬふらぬ

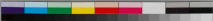
権中納言定頼

阿も阿もあふふ

あふふあふふ

あふふあふふ

あふふあふふ



相模

うらみいひきき

てきこころう

あかしの

いふことあり

茶大僧正行

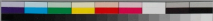
いふことあり

たすむことあり

いふことあり

いふことあり

いふことあり



圖活肉傳

もはりのしよ

らふしよ

とふしよ

ふしよ

かひしよ

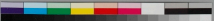
こ條院

ふしよ

はりのしよ

たふしよ

ふしよ



能因法師

阿彌陀佛

第一節

馬

...

...

良蓮法師

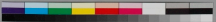
...

...

...

...

...



大納言 藤原 信

御
手
紙

御
手
紙

御
手
紙

御
手
紙

格下親王家御

右
御
手
紙

御
手
紙

御
手
紙

御
手
紙



若中納言通房

九のこゝし

いふわがみへ

志中しよす道

それだち
のち

源俊親朝臣

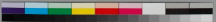
うらうら

てい

のち

のち

のち



藤原基俊

法...
かみ

かみ

まのめ...
かみ

かみ

かみ

法...
かみ

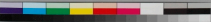
かみ

かみ

かみ

かみ

かみ



崇徳院

正徳二年

三月

廿二日

御書

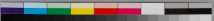
源道信

御書

御書

御書

御書



左京土庫新助

あつちのり

たの

い

い

い

侍賢つ院語

たの

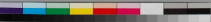
い

い

い

い

い



後徳大寺在太皇

太后御前

御筆

御書

御筆

御書

御筆

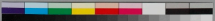
通國法師

御筆

御書

御筆

御書



皇太后御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道

御成道御成道



後法師

ふみかき
ふみかきの
は
は
は
は
は

前法師

は
は
は
は
は
は
は
は
は
は



家傳法師

○ 〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

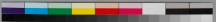
〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇

〇 〇 〇 〇 〇 〇



式子周親主

らうあ人のたひ

ちんけん

あつち

みふめも

あつち

殷富門鏡論

みのもたひ

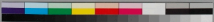
いのち

いふ

これ

いふち

あつち



後京橋松政堂茶

きこられずとも

かゝいしを

しやめがきす

のうあまの

あまのあまの

二條院讀は

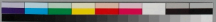
よれあまのあまの

みそぬいあ

のあま

はあまのあまの

あまのあまの



謙倉太右

謙倉太右

謙倉太右

謙倉太右

謙倉太右

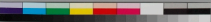
氣儀雅純

氣儀雅純

氣儀雅純

氣儀雅純

氣儀雅純



善大僧正

子

子

子

子

子

入道

子

子

子

子



權中納言定家

こぬいしをうけ

第1

あつとあま

い

い

い

正二位家隆

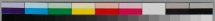
あま

い

い

い

い



後鳥羽院

正徳二年

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

頃徳院

三月廿一日

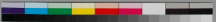
三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日

三月廿一日



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on aged paper. The text is arranged in several lines, with some words appearing to be "Dear Sir" and "I have the honor".

